

## 学校評価アンケート「学校への要望や改善点などのアイディア」

### 【授業公開、懇談・面談】

- 授業公開による参観の機会確保については、回数を確保していきます。特別な行事の公開について、校内マラソン大会の度重なる延期に対して、仕事の調整がつかない等のご意見をいただきました。子どものがんばりや成長を、多くの保護者の方々と共有したいという願いが、延期の意図でした。天候に左右される行事の延期設定については、慎重に判断していきたいと思います。
- 個人面談の実施方法や回数について、ご意見をいただきました。個人面談は、4月下旬の家庭訪問の代替として全家庭対象として実施、夏休み及び1月の希望制の面談の計3回実施しています。加えて、学級懇談会（5月、7月、10月、2月）も4回実施し、個別にまた学級全体としての情報共有、課題解決に取り組んでいます。面談の場だけでなく、日頃から学級担任と保護者の間で、コミュニケーションが取れるような関係づくりに努めていきたいと思いますので、子育てに関する悩みや不安は、遠慮なくご相談ください。学校と家庭は、教育上のパートナーだと捉えています。

### 【二学期制】

- 二学期制について、その良さが実感できないというご意見をいただきました。本校が2学期制をとってから12年が経過していますが、保護者にそのメリットが十分にお伝えできていないことを反省しています。

①全国の小学校の状況：3学期制78% 2学期制22%（令和4年度 文科省資料）

#### ②2学期制のメリット

- ・始業式、終業式等の学校行事の時間が削減され、授業時間が確保できる。
- ・通知表の回数が2回に減ることで時間にゆとりが生じ、教職員・児童の双方に時間的・精神的な余裕ができる。そのため、学習活動が充実し、教職員が児童に向き合う時間も増える。教職員の働き方改革にもつながっている。学校をブラック職場とは言わせません。
- ・前期の通知表は、夏休みの間にある程度準備ができるため、9月の学習活動に詰め込み感がない。3学期制の7月12月、3月は、成績をつけるための学習が多くなり、児童にはとても窮屈な学習となります。
- ・2学期制の7月、12月は成績つけの慌ただしさ、窮屈さがありません。本校では、7月を命の指導に、また12月は人権の指導に重点を置き、指導の充実を図っています。
- ・2学期制は、長期休業中に入る区切りがはっきりせず、メリハリが出ないというご意見があります。夏休み前集会、夏休み明け集会（冬休みも同様）を行い、自己の振り返り、目標づくり、生活指導を行っていますのでご安心ください。

保護者の方々は、3学期制で小学校を過ごされてきたので、2学期制に不安を抱かれることもごもっともなことです。しかし、子どもたちを中心に考えて、教育効果を確実に上げていく創意工夫の一つが、学校2学期制だと捉えていただけるとすっきりされると思います。

今後も、教育活動の一層の充実に向け、「教科担任制」等の新しい取組についても調査研究していきたいと考えています。

**参考** 全国小学校の教科担任制実施状況（令和4年度 文科省資料）

書写20% 社会41% 算数21% 理科17% 生活42%

### 【自然災害時の対応】

- 地球の気候変動に伴い、災害が増えてきています。災害から子どもたちの命を守る取組について詳しく知っておきたいと声をいただきました。
  - ・自然災害時の家庭への緊急連絡は、安心メールで行います。必ず登録してください。父母2名の複数登録も可能です。
  - ・臨機休校が考えられるのは、台風接近、対応が困難な大雪、大雨（警報級）の場合です。前日に決定する 경우가ほとんどです。
  - ・状況を見て当日朝、通常登校、登校時刻繰り下げ、休校を決める場合もあります。積雪の状況、雨の降り方、台風の進路等、今後の気象予測を見て判断します。安心メールをこまめにチェックしてください。
  - ・子どもたちが登校している日中に、天候が急変して下校が困難だと判断される場合（大雨、降雪等）は、学校に留め置き、保護者のお迎えをお願いすることになります。また、今後天候状況が悪化し、通常下校まで待っておれない状況時には、下校を早めて色別集団下校を実施する場合があります。
- この他、火災発生時や不審者侵入時、地震発生を想定した避難訓練を実施し、自分の身は自分で守れる力を、継続して育てています。

### 【学校給食】

- 給食の質や指導法についてご意見がありました。物価高騰の折、限られた予算の中で、成長に必要な栄養価を確保し、おいしく食べられるような工夫をされています。給食センターの栄養士さん、調理員さん方に感謝です。子どもたちには、食べられること、給食に関わる方々への感謝の気持ちを指導しています。また、個人差に応じて食前に量を減らすなどしており、完食の強要等もしていません。

### 【教職員】

- 教職員が怖い、接遇が悪いとのご意見を頂いております。不本意なご指摘ではありますが、教育のプロとして、どの子にも温かい、元気や勇気がわく言葉かけができるように、スキルアップを目指していきます。「叱るべき時にはきちんと叱って諭すこと」、子どもを叱った際には、ご家庭にも連絡し、より良き成長に繋がるよう意識を共有していきたいと思っております。

### 【その他】

- 学童クラブとの連携を深めてほしい。
- 学級通信が少ない気がする。
- 名札や体操服ゼッケンを改良して欲しい。

たくさんのご意見を頂戴しました。諫小教育の充実に向けて、しっかり改善に生かしていけたらと考えています。ここでは紹介できませんでしたが、学校や教職員に対して、元気が出る、温かい感謝の言葉もたくさんたくさんいただきました。ありがとうございます。私たち諫小の教職員の願いは、ひあしっ子の豊かな成長、ただ一つです。そのために、日々の指導に手を抜かず取組むことは勿論、学校だけでは教育が進まない教育（人間づくり）を、保護者の方々の理解を得て、手を携えて子どもたちの指導にあたりたいと思っています。どうぞこの思いを受け取っていただき、今後も教育上のパートナーとしてご協力いただきますようお願い申し上げます。